

団体間で協働化できる取組（案）【人材確保・育成分野】

1. 背景

「富県宮城推進会議」において、今後進展する製造業の企業立地に伴う「ものづくり人材（技術者・技能者）」の需要増大に対応する取組として、人材確保（育成）が必要との議論があった。

円滑な企業誘致を進めるとともに、地域のものづくり中小企業の持続的な経営力の向上を図るためには、積極的な人材確保（育成）の取組が求められる。

今後新設又は増設が計画されている工場の稼働開始は、平成22（2010）年前後に集中しており、上記の課題を解決するためには、ここ数年で効果が現れるような即効性のある取組が必要となる。

「ものづくり人材」に関しては、県内に在学する高校生や高専生、大学生を合わせると相当程度の人数が存在しているが、これら生徒・学生においては就職先として大手企業を志向する傾向がある一方、地域産業を支える元気な中小企業の存在が生徒等に十分知られていないなど、就職活動においてミスマッチが生じている。

2. 目的

ものづくりを支える団体が協働して、県内外の生徒・学生が就職先を選定する際のカギとなる情報を提供することにより、県内ものづくり企業への就職を促進し、今後増大が見込まれる製造業の人材不足を解消する。

- (1) 主なターゲット：県内の工業高校生，県内外の大学・高専生
- (2) 主な対象企業：既に県内に立地しているものづくり関連企業

3. 概要

(1) 事業名 (仮称) みやぎものづくり企業魅力発信事業

(2) 想定事業主体 実行委員会形式

(想定協働団体 (社)みやぎ工業会，宮城県商工会議所連合会，宮城県商工会連合会，(社)東北ニュービジネス協議会，(社)宮城県情報サービス産業協会 等

(3) 事業概要

A) 情報発信事業

- ・ 県内のものづくり産業に関連する企業に関して，企業情報（企業名など），企業の特色（製品・施工の特徴，人材育成の方法など），従業員の出身学校名，若手従業員からのコメント，福利厚生などの情報をデータベース化。
- ・ 年度ごとに上記データを冊子にして，県内の高校，県内外の大学・高専等に配布し，教員による就職指導や，生徒・学生の進路選択時のツールとして使用。

B) 直接訴求事業

- ・ 採用人数が少ない，採用が隔年である等の理由により，ものづくり人材を確保する必要性が大きい企業を対象に，県内外の大学・高専で各社の魅力をPRできる機会（説明会）を設定。

その他，各団体が独自に実施する人材確保事業とも連携